

見込ハ覺東ナイト存ゼラレマス。

其後ものし織ノ起原ニ就イテハ越後ノ流人ノ傳ヘデ織リ始メタルモノト話ヲ聞キマシタ。本村淺沼恒太郎氏ノ七島文庫ニ求メ得ルト思ヒマスカラ判明次第御知ラセ申上マス。越後上布ガからむしヲ原料トスルニ鑑ミ、アリ得ベキ事ダシ且ツ島民ガからむし、しまながばやぶまをヲ混同スルアタリ些カ興アル事ダト思ヒマス。」林氏ノ御厚意ニ謝意ヲ表ス。

(佐竹義輔)

○檜山氏採集ノ新品二三

野外植物研究會ノ檜山庫三氏ノ採集中ニ次ノ新品ガアツタ。

みやまざくら (*Prunus Maximowiczii* RUPRECHT) ハ元來花柱ノ基部ニ毛ノアルモノデ記載サレタモノデアルガ、同氏ガ甲斐三ツ峠デ採ツタモノハ花柱ニ毛ガ無いノデ **こみやまざくら** (*Prunus Maximowiczii* var. *gymnopus* HONDA, var. nov. Stylus toto glaber.) トシテ區別スベキモノデアル。三ツ峠以外ニモ産スル。

同ジク三ツ峠ニハすひかづら (*Lonicera japonica* THUNBERG) ノ花ノ紫色品ガアルコレモ **むらさきすひかづら** (*Lonicera japonica* f. *purpurella* HONDA, form. n. v. Flores purpurascences.) トシテ區別スル。

最後ニ越後苗場山ニわうれん (*Coptis japonica* MAKINO) ノ綠花品ガアルノデコレニ **みどりわうれん** (*Coptis japonica* form. *viridiflora* HONDA) ト命ジタ。

標本ハ全部東大植物學教室ニ寄贈シテ貰ツタ。

(本田正次)

○*Microstegium dilatatum* KOIDZUMI ガ上總鹿野山ニアル

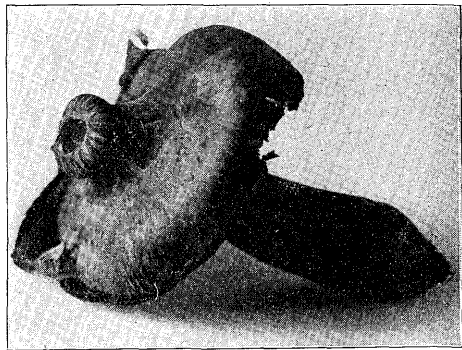
花序軸ヤ花梗ガ扁平擴大シ、小穂ニ毛ヲ有スルコト、葉ニモ毛ガアルコト等デ新種トシテ記載サレタ *Microstegium dilatatum* KOIDZUMI ト思ハレルモノガ、檜山庫三氏ニヨツテ上總鹿野山ノ裏山デ採集サレタ。原記載 (G. KOIDZUMI: Floræ Symbolæ Orientali-Asiaticæ, p. 38, 1930) デ見ルト、產地ハ横濱 (MAXIMOWICZ 採集) 及ビ東京 (FAURIE 採集) トアルノデ、何レハ關東方面ノモノデアラウガ今迄見當ラナカツタモノデアル。和名ガ未ダ發表サレテ居ナイ様ダカラ、此ノ際ニ於テ **けさきがや** ト新稱シタイ。

(本田正次)

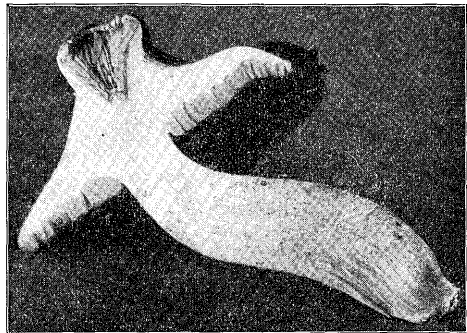
○松茸ノ一畸形

昭和12年ノ秋、京都山科産ノ松茸ニ奇妙ナ畸形ガアツタカラ寫眞ニ撮ツテ見タ。第1圖ハ菌ノ蓋ノ上ニ更ニ1個小サナ蓋ガ倒サニクツイタモノデ、植物畸形トシテハ餘程風變リ

ノモノデアラウ。之ヲ縦斷シテ見ルト親ノ大キナ方ノ蓋ト中心ガ一致シテ居ルカラ小サナ蓋モ正シク透心性ニ縦斷セラレル(第2圖)。而シテ其ノ蓋ノ中ニモ完全ニ欄ガアルコトガヨク分ル。親ノ蓋ハ直徑約14 cm、莖ハ欄ノ下端ノ邊リデ直徑23 mm、下部ノ太イ所デ35 mm、全體ノ目方ハ145 gデ是ハ別段ニ大キナ松茸トモ云ヘヌ、先ヅ中等ノ大サヲアル。畸形ノ部分ノ倒サノ蓋ハ徑約35 mm 圖ノ如ク全開ハシテ居ラス、コノ中ニ在ル欄ノ勿論中央カラ放射狀ニ出テ居ルガ中央ハ當然アルベキ莖ガ無いカラ約8 mmノ半球形ノ基礎質ヲ中央トシテ居ル而シテ此ノ半球形ノモノカラ欄ノ出方、即チ附着ノ仕方ハ變生デ正常ノ松茸ノ欄ガソノ莖ニ附着スル状態ト變リハナイ、ツマリ上ノ倒サノ蓋ハ莖ノ無い小サナ松茸デアル、又此ノ倒サノ蓋ノ欄ニモ胞子が完全ニ生育シテ居テ之ヲ鏡檢スルニ色ハ無色、殆ンド球形或ハ廣楕圓形、大サ $6\sim 7\times 5\sim 6\mu$ デ之亦正常ノ松茸ノ胞子ト異ル所ハ無カッタ。京都ハ松茸ノ本場デ產出量モ多イガ斯ル畸形ニ出遇フノハ珍ラシイ。Teratologyノ1資料トモナラバト思ヒ記載シテ置ク。斯ル畸形松茸ヲ食フト幸福ヲ授カルトノ迷信ガアルサウダ。



第1圖 松茸ノ畸形(島田玄彌寫眞)



第2圖 松茸ノ畸形(島田玄彌寫眞)

スルニ色ハ無色、殆ンド球形或ハ廣楕圓形、大サ $6\sim 7\times 5\sim 6\mu$ デ之亦正常ノ松茸ノ胞子ト異ル所ハ無カッタ。京都ハ松茸ノ本場デ產出量モ多イガ斯ル畸形ニ出遇フノハ珍ラシイ。Teratologyノ1資料トモナラバト思ヒ記載シテ置ク。斯ル畸形松茸ヲ食フト幸福ヲ授カルトノ迷信ガアルサウダ。

(島田玄彌)

〇こけふうりんたけ(藓風鈴蕈)トけくだたけ(毛管蕈)

いばたけ科(Thelephoraceae)ノふうりんたけ屬(*Cyphella*)トくだたけ屬(*Solenia*)トハ各數十種類ヲ含ム大屬デアツテ、互ニ近縁ノモノデアル。我が國ニモ此等ノ屬ニ含マレル種類ガ相當ニ多數アルヤウデアツテ、將來ノ研究ニ俟ツモノガ多イ。此處ニ、各一種類宛ガ新シク日本デ見出サレタ事ヲ報告スル事トスル。

とびふうりんたけ(*Cyphella muscigena* [PERS.] FR.)

菌體ハ極メテ小サク、鐘狀、或ハ皿形ニシテ徑1-4 mm 或ハ不規則ニ開裂シテ6 mm 近クニナル。殆ンド無柄ニシテ、狭キ底部ニヨリ基物上ニ着ク。全體純白色、薄キ膜質ニシテ、外面ハ殆ンド平滑、ヤヤ光澤アリ。内面モ平滑或ハ不規則ナル粗キ皺アリ。胞子ハ卵形ニシテ $8\times 6\mu$ 程ナリ。山地ノ藓體上ニ群生ス。